

別表2 殺菌剤の作用機作による分類

	作用機構	グループ名	有効成分名	商品名(例)	
4	A:核酸合成	PA殺菌剤(フェニルアミド)	タラキシル	リドミル	
31		カルボン酸	オキシロニック酸	スターナ	
1	B:有糸核分裂と細胞分裂	MBC殺菌剤 (メチルベンゾイミダゾールカーバメート)	ベノミル	ベンレート	
10		N-フェニルカーバメート	チオファネートメチル	トップジンM	
7		SDHI(コハク酸脱水素酵素阻害剤)	フルトラニル	モンカット	
			チフルザミド	グレータム	
			フラメピル	リンパー	
			ベンチオピラド	アフェット、フルーツセイ	
			ボスカリド	カンタス	
11	C:呼吸	QoI剤(Qo阻害剤)	アゾキシストロビン	アミスター	
			ピラクロストロビン	ナリア、シグナムの一部	
			クレソキスルメチル	ストロビー	
			メミノストロビン	オリブライト、イモチエース	
			オリサストロビン	嵐	
			ファモキサドン	ホライズンの成分	
			ピリベンカルブ	ファンタジスタ	
			21	QII剤(QI阻害剤)	シアゾファミド
		アミスルブロム	ライメイ、オラクル		
9	D:アミノ酸および蛋白質合成	AP殺菌剤(アニリノピリミジン)	メパニピリム	フルピカ	
24		ヘキソピラノシル抗生物質	カスガマイシン	カスミン	
25		グルコピラノシル抗生物質	ストレプトマイシン	ストマイ、マイシン	
41		テトラサイクリン抗生物質	オキシテトラサイクリン	マイコシールド	
12	E:シグナル伝達	PP殺菌剤(フェニルピノール)	フルジオキソニル	セイビアー	
2		ジカルボキシイミド	イプロジオン プロシモドン	ロブラール スミレックス	
14	F:脂質および細胞膜合成	AH殺菌剤(芳香族炭化水素)	トルクロホスメチル	リゾレックス	
3	G:細胞膜のステロール合成	DMI殺菌剤(脱メチル化阻害剤)(SBI:クラスI)	トリホリン	サブロール	
3			フェナリモル	ルビゲン	
			トリフルミゾール	トリフミン	
			ジフェノコナゾール	スコア	
			ヘキサコナゾール	アンビル	
			イプロコナゾール	テクリード	
			マイクロブタニル	ラリー	
			プロピコナゾール	チルト	
			17	(SBI:クラスIII)	フェンヘキサミド フェンピラザミン
26			H:細胞壁合成	グルコピラノシル抗生物質	バリダマシシン
19	ポリオキシシン	ポリオキシシン		ポリオキシシン	
40	CAA殺菌剤(カルボン酸アミド)	ベンチアバリカルブイソプロピル マンジプロパミド		プロポーズ、ベトファイターの成分 レーパス	
16.1	I:細胞壁のメラニン合成	MBI-R	ピロキロン	コラトップ	
16.2		MBI-D	カルロパミド	ウイン	
			ジクロシメット プロピオンアミド	デラウス アチーブ	

	作用機構	グループ名	有効成分名	商品名(例)
P2	P:宿主植物抵抗性誘導	ベンゾイソチアゾール	プロベナゾール	オリゼメート
P3		チアジアゾールカルボキサミド	チアジニル	ブイゲット
		イソチアゾールカルボキサミド	イソチアニル	スタウト、ルーチン
33	U:作用機作不明	ホスホナート	ホセチル	アリエッティ
36		ベンゼンスルホン酸	フルスルファミド	ネビジン、ネビリュウ
U6		フェニルアセトアミド	シフルフェナミド	パンチョTFの成分
U8		ア릴フェニルケトン	ピリオフェノン	プロパティ
U13		チアゾリジン	フルチアニル	ガッテン
U14		ピリミジノンヒドラゾン	フェリムゾン	ブラシンの成分
NC	未分類	種々	マシン油、炭酸水素ナトリウム	
M1	M:多作用点接触活性	無機化合物	銅	コサイド3000など
M2			硫黄	イオウなど
M3		ジチオカーバメート	マンゼブ	ジマンダイセン、ペンコゼブ
			プロピネブ	アントラコール
			チウラム	チウラム
M4			フタルイミド	キャプタン
M5		クロロニトリル(フタロニトリル)	TPN	ダコニール
M7		グアニジン	イミノクタジン酢酸塩	ベフラン
			イミノクタジンアルベシル酸塩	ベルコート
M9		キノン(アントラキノ)	ジチアノン	デラン
M10	キノキサリン	キノキサリン系	モレスタン	

(FRACコードリストより抜粋・改変)